

心身共にたくましく、自ら学ぶ、心豊かな子どもの育成



茅小だより 10月号

令和5年9月29日（金）

茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校
校長 吉野 利彦

心の大切な宝物となった 最高の修学旅行

夏休みが明けても異例の暑さが続いておりましたが、ようやく秋空がさわやかな好季節となりました。保護者や地域の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、6年生が、9月8日（金）・9日（土）に1泊2日の日程で、栃木県の日光に修学旅行に行ってきました。台風13号の影響で、学校は臨時休業となりましたが、専用列車が運行できたので、ほぼ予定どおり実施することができました。雨の関係で、1日目の中禅寺湖の遊覧船には乗ることができませんでした。充実した2日間を過ごすことができました。どのクラスも、列車や宿の中では、友達との交流を深め、笑顔や笑い声が絶えませんでした。2日目の東照宮では、グループ別行動を行いました。歴史的建造物を目の当たりにして、その重厚さに圧倒されていました。

2日間の旅を通して、日光の大自然と世界的にも貴重な文化遺産にふれるとともに、学年の仲間の素敵なところを、たくさん新発見・再発見することができました。一人一人の子どもたちの心に大切な宝物ができた最高の修学旅行となりました。



お子様の素敵な成長を ご家族で共有してください

10月6日（金）の前期最終日には、お子様を通じて「あゆみ」を配付いたします。その中で、各担任が、学習面や生活面でのお子様の半年間の頑張りや成長を、一文字一文字に思いを込めて綴っています。「漢字の学習では、筆順や字形をしっかりと確認し、納得がいくまで丁寧に練習していました。」「困っている友達を見つけると、『どうしたの?』『大丈夫?』と優しく声をかける姿が何度も見られました。」「教室のゴミ箱がいっぱいになると、進んで袋を交換し、ゴミ捨てに行ってくれました。」など、素敵なメッセージがたくさん綴られています。ご家庭でも、お子様と一緒にこの半年間の頑張りや成長を共有してくださるようお願いいたします。